

1 評価の実施期日・場所等

- ・令和3年3月3日（水） 長崎県立島原工業高等学校 応接室

2 学校関係者評価委員

- ・当該委員は、学校評議員と兼務する。
- ・出席者：松尾良弘委員、田中三智雄委員、松嶋朝子委員 計3名

3 学校関係者評価の内容

(1) 自己評価の結果について

- ①生徒アンケートの結果は29項目中19項目でポイントが上昇している。しかし、「意欲的に学習に取り組んでいる」が0.1ポイント下がっている。生徒の主体性を育みながらも意欲を向上させる仕掛けを教職員が意識する必要がある。また、「家庭では、挨拶や生活態度について注意をされる」が最も低いため、保護者の協力が必要である。
- ②保護者アンケートは30項目中15項目でポイントが上昇している。しかし、「学校の施設・設備は充実して満足できる」が0.1ポイント下がっている。設備の更新は困難ではあるが、整備を行い、より活用できるように取り組みたい。また「子どもは授業は理解できると言っている」が最も低いため、教職員の授業力向上のための取り組みを検討したい。
- ③教職員の自己評価において、28項目中、25項目が前年度より上昇している。しかし、「地域との連携」に関する項目が、3.0と高い値であるが、全体の中で最も低い値となっている。新型コロナウイルス感染症による影響も考えられるが、今後も感染対策を行ったうえでの積極的な貢献活動と広報活動を行う必要があると考えられる。

(2) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善策について

- ①教職員の授業研究の機会を活用し、導入される1人1台端末を有効活用する授業や生徒の状況に応じた学習指導や主体的・対話的で深い学びにつながる指導ができる技量を養う研修となるように行う。
- ②現在の広報活動を見直し、より効果的に保護者や地域に届くように工夫を行う。

(3) 学校の重点目標や自己評価の評価項目について

学校の重点目標や自己評価の評価項目は適切である。

(4) 学校運営の改善に向けた実際の取り組みについて

- ①今年度の教育活動において、コロナ禍における制約等はあったものの、学校評価の状況や生徒の様子を見ると、学校での指導はおおむね上手くいっているとの評価をいただいた。
- ②県内就職促進に関しては、地域を支えるためにも学校と企業がさらに協力していかなければいけないとの助言をいただいた。
- ③部活動の活躍は素晴らしい。部活動での指導がしっかりと行われており、学校が落ち着いている様子がうかがえるとの評価をいただいた。
- ④学校外周の除草については、外部から目につくのは環境整備の状況であるため、より対策が必要であるとの意見をいただいた。
- ⑤校外でのあいさつの状況は以前よりもできなくなっているように思う。初期指導の重要性について助言をいただいた。